

アート×農

受講生 募集!

応募〆切 8/4 (金)

定員: 10名

8/31(木) - 9/2(土)

アート・サマーキャンプ
「かたる/きく/あじわうアート」

9月 - 11月

受講生による
企画立案プロジェクト期間

11/25(土)

受講生による
企画発表会

会場: 八女市黒木町笠原地区各所

講師: ウー・マーリー

小山田 徹

ジェームズ・ジャック

大南 信也

小森 耕太

長津 結一郎

九州大学 ソーシャルアートラボ 実践講座

奥八女 芸農学校

九州大学ソーシャルアートラボでは、アーティストと連携した地域づくりを学ぶ実践講座を開講しています。

平成29年度は、八女市黒木町笠原地区を舞台に「奥八女芸農学校」を開校。

台湾、日本、アメリカのアーティストによるワークショップを体験し、

そこから得られた知識をもとに企画を立案する実践型のプログラムを実施します。

ここではアートを、作品やプロジェクトの制作を通じて、

地域の中で人やモノによる新しい出逢いを生み出す「仕掛け」と捉えます。

アートと農業の新しいつながりを見出し、共に語り、聴き、味わってみませんか？

James Jack. *Layers of Yame*. 56 x 38 cm.
natural pigments and gum arabic on paper. 2016

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

SOCIAL
ART
LAB
FACULTY OF DESIGN
KYUSHU UNIVERSITY

アート×農

九州大学ソーシャルアートラボ 実践講座

奥八女 芸農学校

九州大学ソーシャルアートラボでは、アーティストと連携した地域づくりを学ぶ実践講座を開講しています。

平成29年度は、八女市黒木町笠原地区を舞台に「奥八女芸農学校」を開校。台湾、日本、アメリカのアーティストによるワークショップを体験し、そこから得られた知識をもとに企画を立案する実践型のプログラムを実施します。ここではアートを、作品やプロジェクトの制作を通じて、地域の中で人やモノによる新しい出逢いを生み出す「仕掛け」と捉えます。アートと農業の新しいつながりを見出し、共に語り、聴き、味わってみませんか？



呉瑪俐 Wu Mali

デュッセルドルフ芸術アカデミー卒業後、1985年より社会と関わる芸術実践に関心を抱き、ジェンダーの視点から歴史的な語りを探求するインスタレーションに着手する。また、コミュニティと深く関わるプロジェクトも多数実施。最近の作品はグローバルリレーションへの応答としてエコ・フェミニスト的な展開を見せており、都市の環境と発展などに焦点を当てたものが多い。これまでにヴェネツィア・ビエンナーレ（1995/1997）、台北ビエンナーレ（1998/2008）、アジア太平洋トリエンナーレ（1999）、福岡アジア美術トリエンナーレ（2005）など多くの展覧会に出展。2016年、台湾ナショナル・アート・アワード受賞。



小山田徹 Toru Koyamada

美術家。1961年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学日本画科卒業。1998年までパフォーマンスグループ「ダムタイプ」で舞台美術と舞台監督を担当。平行して「風景収集狂舎」の名で様々なコミュニティ、共有空間の開発を行ない現在に至る。近年、洞窟と出会い、洞窟探検グループ「Com- pass Caving Unit」メンバーとして活動中。大震災以降の女川での活動を元に出来た『対話工房』のメンバーでもある。京都市立芸術大学教授。



ジェームズ・ジャック
James Jack

アーティスト。社会と環境に深く関わる制作を行なっている。主なグループ展に、Centre for Contemporary Art シンガポール、福岡県立美術館、アジアアメリカーツセンター、瀬戸内国際芸術祭、Cheryl Pelavin Fine Art、釜山ビエンナーレシーアートフェスティバルなどがある。個展はSATOSHI KOYAMA GALLERY、TMT ART PROJECTS、TAMAギャラリー、Beppu-Wiardaギャラリー、ポートランドアートセンター、ホノルル美術館など。明仁皇太子奨学金受賞。現在は、九州大学ソーシャルアートラボのアーティスト特別研究員。
www.jamesjack.org

講師プロフィール



大南信也 Shinya Ominami

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。1990年代初頭より神山町国際交流協会を通じて「住民主導のまちづくり」を展開。1998年米国発祥の道路清掃プログラム「アドプト・ア・ハイウェイ」を全国に先駆けて実施するとともに、1999年「神山アーティスト・イン・レジデンス」などのアート事業を相次いで始動。2007年神山町移住交流支援センター受託運営を開始し、2011年度には神山町史上初となる社会動態人口増を達成。2010年10月以降ITベンチャー企業等16社のサテライトオフィスを誘致。「創造的過疎」を提論にグローバルな視点での地域活性化を展開中。



小森耕太 Kota Komori

1975年福岡生まれ。九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業。大学時代に山村塾の活動と出会い、2000年4月から山村塾事務局スタッフとして八女市黒木町に移住。以後、地域の農林家と連携し、里山保全活動、都市農山村交流活動を企画運営してきた。現在は、平成24年7月九州北部豪雨災害を受けた地域の復興を目指し、笠原棚田米プロジェクトの取り組みに力を入れている。



長津結一郎
Yuichiro Nagatsu

九州大学大学院芸術工学研究院助教、ソーシャルアートラボ・コメンター。専門はアートマネジメント、芸術と社会包摂。学術博士（東京芸術大学）。障害者の表現活動を主たる研究対象とし、異なる立場や背景をもつ人々がどのように協働することができるのか、研究／実践の双方からのアプローチを試みている。ワークショップの開発や協働の場づくりについても関心を寄せている。これまで関わった主なプロジェクトに「東京迂回路研究」「ご近所イノベーション学校」などがある。

James Jack. *Layers of Yame*. 56 x 38 cm.
natural pigments and gum arabic on paper. 2016

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

SOCIAL
ART
LAB
FACULTY OF DESIGN
KYUSHU UNIVERSITY

a 8/31(木)～9/2(土)

アート・サマーキャンプ「かたる/さく/あじわうアート」

集合：笠原東交流センター「えがおの森」（八女市黒木町笠原9836-1）

8/31(木) 13:00-20:00

・イントロダクション

講師：ジェームズ・ジャック（アーティスト、九州大学ソーシャルアートラボ特別研究員）
長津結一郎（九州大学ソーシャルアートラボ・コアメンバー）

・ワークショップ「あじわうとは？」

講師：ウー・マーリー（アーティスト、台湾国立高雄師範大学教授）
「食」を通じて、居合わせた人同士がお互いを知り深めるアート・ワークショップを行います。文化や世代の異なる人たちが、それぞれの物語を共有するための場を体験します。

・交流会

9/1(金) 10:00-20:00

・ワークショップ「地球の声を聴こう」

講師：ジェームズ・ジャック
ふと地球の奥深くに耳を澄ましてみると、何と語りかけてくるのでしょうか？その体験は、深遠なる自然へと感覚を開いてくれるものかもしれません。

・ワークショップ「交歓の《火床》をつくる」

講師：小山田徹（アーティスト、京都市立芸術大学教授）
異なる立場の人が居合わせ、火を囲んで同じ時間を共有する。笠原地区にすでにあるものを組み合わせながら場をしつらえ、お茶や食べ物を味わいながら、火とともにゆっくりと過ごす時間をつくります。

9/2(土) 10:00-12:00

・アート・サマーキャンプの振り返り

講師：小森耕太（NPO法人山村塾事務局長）、長津結一郎
2日間の体験を受講生同士で語り合うとともに、笠原地区の現状と課題に耳を傾けながら、企画発表会に向けた準備を始めます。

b 9月～11月

企画立案プロジェクト

aでの体験をもとにして、笠原地区でのアートと農業に関する新しいプロジェクトを受講生が構想します。オンラインでの企画書等の作成と添削を予定しています。詳しい進め方はサマーキャンプでお知らせします。

c 11/25(土)

企画発表会

時間・会場未定（決まり次第受講生には個別にお知らせします）

bで構想した企画を、地域の方々に向けて発表し、これからのアートと地域、アートと農業の関わりかたについてゲストを交えて議論します。

講師：大南信也（NPO法人グリーンパレー理事長）ほか

募集要項

定員：10名 受講料：無料（要実費）

対象：文化事業や地域づくりに携わっている方、
将来携わりたいと考えている方

* a～cの全日程に参加できる方を優先します。

* aは合宿形式で行います（えがおの森）。近隣の方は通いで参加も可能です。そのほか、合宿での参加が難しい方はご相談ください。

[要実費：全日参加8,000円（食費・宿泊費・施設使用料・保険料込み）
一部参加の場合は応相談]

* 笠原地区までは自家用車でのご来場も可能です。

公共交通機関をご利用の方は、JR羽犬塚駅より「堀川バス」にて黒木バス停までお越し下さい。黒木バス停からはスタッフが送迎します（要連絡）。

お申し込み方法

応募フォームまたはEメールからお申し込みください。

応募フォーム <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

Eメール sal@design.kyushu-u.ac.jp

* Eメールの場合は、以下の事項をご記載ください。

①氏名（フリガナ） ②電話番号 ③メールアドレス ④住所 ⑤所属
⑥受講の動機（400字程度）

* 応募多数の場合は選考する場合があります。

* 受講の可否は、8/10（木）までにメールで直接ご連絡します。

お問い合わせ：九州大学ソーシャルアートラボ

TEL&FAX 092-553-4552

主催：九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ
共催：公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
協力：NPO法人山村塾
後援：福岡県、福岡市、日本アートマネジメント学会九州部会
助成：平成29年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
* 本企画は、NPO法人山村塾の現地コーディネートのもと、
笠原地区のみなさまのご協力により開催されます。

